

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 737

政策体系	25	事業分類	ソフト事業	所管部局	教育委員会 社会教育課
会計	一般会計	科目	10. 教育費 - 5. 社会教 - 5. 文化財 現年		
事業名	重要文化財保存管理事業				
細事業名	重要文化財保存管理事業				
評価表作成者				教育委員会 社会教育課	倉内 辰彦

1. 事業の概要

重要文化財石田家住宅保存管理の推進

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

国の要文化財である石田家住宅の維持管理並びに公開事業

②事業を実施する必要性

石田家住宅は南丹市が管理団体であるため、維持管理を行う。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	76	34	1,174	35	51	51	51
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	582	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	76	34	592	35	51	51
職員等の従事人員	人/年	—	0.08	0.07	0.07			
人件費	千円	—	672	590	554			
事業費総額	千円	—	706	1,765	589			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

自動火災報知設備点検委託料 15,750円（委託料）
 消耗品費、光熱水費 19,239円（需用費）

5. 事業結果の概要

自動火災報知機設備点検
 石田家住宅の公開（4月～11月）約480人が見学

6. 活動の詳細

維持管理		
重要文化財の維持管理及び公開を実施。	22. 4. 1～11. 30	見学者 480人

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

施設管理を充実させる必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

老朽化した屋根の修理を実施することができた
施設管理を充実させる必要がある

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行にあたり議論を重ねた点
所有者が不在のため、管理団体としての今後のあり方について協議した。
- ②当該事業のアピール事項
南丹市の文化財の価値が再認識される。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
所有者が不在のため、今後の保存計画が不透明。早急に所有者と調整を行い、今後の方向性を意志統一する必要がある。